

法人（事業所）理念		発達に遅れや偏りのあるお子さんを対象として、子どもたちが、ご家族や地域とのつながりの中で、「楽しくまなび、楽しく過ごす」ことを目指します。						
支援方針		お子さんが楽しめる場所を作ります。お子さんの「強み」を見つけます。お子さん一人一人に合わせた課題を見つけます。チームで療育を行います。地域に貢献します。他の療育・保育・教育機関との協働を大切にします。専門職（公認心理師、臨床心理士、言語聴覚士）による１対１の個別支援を提供します。						
営業時間		火～金	10 時	15 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし
		土	9 時	15 分から	15 時	15 分まで		
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	お子さんの興味・関心に合わせた教材や活動を用意し、定期的に通っていただくことで、お子さんの生活リズムを作るお手伝いをします。食具の使い方、衣服の着脱、保育園や幼稚園のお支度に必要な行動などを、スモールステップで習得できるよう支援します。個別の部屋を用意する、パーティションを活用するなどして、お子さんが活動に参加しやすい環境を作ります。絵や文字のスケジュール表、トークンシート、タイムタイマーなどを使って、予定をわかりやすく伝えます。						
	運動・感覚	着席して活動する時間と、床で遊ぶ時間を設けます。座った姿勢を維持しやすいよう、お子さんに合わせた椅子や机を用意します。キャッチボール、ボーリング、玉入れなどの活動を通して、体の使い方や力の加減の仕方を学ぶ機会を作ります。おもちゃ遊びや道具を使った製作を通じて、目と手や体を一緒に動かす練習をします。必要に応じて「SP感覚プロファイル」などを使い、お子さんの感覚刺激への反応傾向を査定し、お子さんの感覚特性に応じた支援を行います。						
	認知・行動	パズル課題、見本合わせ課題、具体的な物や絵カードを使った課題を通して、物の機能、属性、形、色、大きさや重さなどの物の様子について、言葉と結びつけながら、抽象的な概念を学ぶ機会を作ります。数量や数字の順番など、数に関することを段階的に学べるようにします。平面や立体の様々な教材を使い、学習したことが日常生活に広がりやすいように工夫します。						
	言語 コミュニケーション	「聞く」「話す」というコミュニケーションの基盤を作ります。自分の発言が相手に受け止められる、相手の言うことに応じて行動したり発言したりすると相手が肯定的な対応をしてくれるという経験を通じて、コミュニケーションの楽しさを感じられるよう支援します。自分のしたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動を身につけられるよう機会を捉えて支援します。音声言語によるコミュニケーションにこだわらず、お子さんの特徴やニーズに応じて、絵カードや身振りや文字を使った手段を活用します。言葉を聞いて行動することや、見たものや経験したことを言葉で表現することを学ぶ機会を作ります。言葉の理解・表現の課題を通して、日常生活で使える言葉の種類を増やします。同じ文字同士を合わせる、ひらがなをなぞる、単語を読むなど、楽しみながら文字に親しむ機会を設けます。						
	人間関係 社会性	１対１の個別支援の中で、支援員がお子さんの強みをたくさんみつけて肯定的な働きかけをすることで、他者と過ごす楽しさを体験してもらいます。活動や遊びの中で、相手の行動を模倣することを促します。ごっこ遊びやルールのある遊びに参加し、役割やルールに応じた行動を身につけ、集団に参加する準備をします。ゲームで負けた時、失敗した時、思い通りにいかない時に、気持ちを落ち着ける方法をお子さんと一緒に考えます。課題を行う順番や休憩時間に遊ぶおもちゃなど、教室での過ごし方についてお子さんと一緒に計画し、お子さん自身の意思決定につながる支援をします。						
家族支援		見学室を用意し、家族が支援の様子をモニターでみられるようにします。希望者に、動画による講習と療育体験の機会を用意します。困り事があった時には、管理者、児童発達支援管理責任者にいつでも相談できる環境を整えます。				移行支援	必要に応じて、保育園、幼稚園でのお子さんの様子を見学したり、保育園、幼稚園の先生とお子さんの様子や支援方針について、情報共有したりします。就学予定の小学校にお子さんの情報を伝えて連携を図ります。	
地域支援・地域連携		お子さんの通っている他の発達支援事業所などと情報共有するなどして連携を図ります。				職員の質の向上	年に３回以上の内部研修を行い、障がいへの理解を深めたり、新しい支援方法を学んだりします。隔週のスタッフミーティングで、現在の支援方針について検討し、お子さんや支援方法に関する情報を共有します。職員の外部研修への参加を奨励します。	
主な行事等		避難訓練（地震津波、火災、水害、年２回以上）、交通安全指導、不審者対応指導						